



「雪の日の朝に・・・」

校長 中野 瑞枝

向春の候となりました。下校時刻には真っ暗だった師走と比べていつの間にか日の入りが遅くなっています。「もう、すぐそこまで春が来ている」と感じるが増えた最近です。

先日、雪が積もった日のことです。丘の上にある本校は、斜面を上がらなくてはなりません。私も富岡駅から「子どもたちの通学路は大丈夫かな」と坂道を上がり歩きましたが、すでに雪は、端に寄せられていました。また、雪かきをされたばかりの道に「こっちを歩きなよ」と声をかけてくれる方がいらっしやり恐縮しました。大盛況だった1月の餅つき行事などのふれあいを感じる場面が多く、あらためて地域の温かさに触れた思いがしました。また、登校中に作ったという冷たい雪だるまを持参してきた生徒がいたり、雪を踏みながらはしゃいで元気に登校する生徒もいたり、その様子を見ていて「時代は変わっても、子どもの心は変わらないのだなあ」と安心した穏やかな気持ちになりました。

3年生は、中学校生活締めくくりの時へ

先日の2月14日、15日に公立高等学校の入試がありました。3年生、お疲れ様でした。今年から公立高校の出願がインターネット出願に変更となり、「何かあってはいけない！」と、先生たちは、強い思いで進路主任を中心に一団となって、チェック体制を整え丁寧に取り組まれていました。その姿に、校長として安心して見守ることができました。紙面ではなくインターネット上で「保護者の承諾→担任承諾」「最終確認→校長承諾」というやりとりをネットで行います。最後の校長承諾で一瞬に出願ができてしまうことに不安もありましたが、教育委員会が進めているDX教育に繋がっていくことを実感しています。これからも教育にICT機器を活用し、様々な変化を予測して対応できるようにする準備も必要だと感じたところです。

3年生は、入試を終え、あとは、2月28日の発表となりました。どんな結果であろうとも、どうぞ、自分が進む道に胸を張ってほしいと思います。将来や未来のことは誰もわかりません。未来の行先にいる自分は、今の自分が少しずつ進みながらつくるものだからです。中学校3年間を終えようとしている今、これまで経験してきた様々なことを超えて自分が立派にここに立っていることに誇りをもって欲しいと願います。これから、3年生は、特別日課に入り、卒業式前日までをクラスや学年で締めくくりの時間を過ごします。卒業式の練習、合唱練習や卒業遠足、防災教育、平和学習発表会など、学年行事と盛りだくさんです。たくさんの良い思い出を作ってください。

教室前に3年生徒が書いた来年度の入学生に向けたメッセージが掲示されています。4月には校舎内で新入生と会うことはできませんが、自分たちの入学した頃を思い浮かべながら書いたのだと思います。「3年間は、あっという間だよ！」「中学校は、楽しいよ！」「コツコツ勉強しておくことを進める。後で後悔しないように」「たくさん友達を作って中学校生活を楽しんでください！」など、経験を通してアドバイスしながら優しさを感じることができるメッセージが多数ありました。ありがとうございます！！

学校評価へのご協力ありがとうございました！！

2月22日、学校運営協議会がありました。学校評価のまとめが中心となりました。次ページにまとめを載せてありますのでご覧ください。例年、質問4(家庭学習)が低く、今年も同様の結果ですが、家庭学習について、本校の生徒は校内で自習している姿をよく見かけます。時間を自分で作って自習をしている姿が多いので私は、感心していました。質問の意味をもう少し具体的にしたら数字は変わるのではないかと思いました。また、学校運営協議会の皆様からは、授業参観の印象が強く、時代が変わって楽しい授業が展開されていることはとても良いと感じた、登下校のマナーがとても良い、小中学校の連携や関係性がとても良い、自転車のマナー教室をしっかりやってほしい、自分ごとに捉える教育を防災教育でも取り入れる、学校給食の試食をお願いしたいなどのご意見をいただきました。学校運営協議会の皆様には、1年間ご支援いただきありがとうございました。